

私たちの手で支えあいの地域をつくる

▷問い合わせ 芦屋町社会福祉協議会
(☎222-2866)

日々の食料に困っていませんか 「生活困窮者緊急食糧等支援」を利用してください

町内に居住している低所得者等の人が緊急かつ一時的に生計維持が困難になった場合に食糧等の生活に必要な現物（食糧等）を一時的に提供することで世帯の自立を促し、円滑な社会生活が送れるように支援します。

■生活困窮者緊急食糧等支援とは

生活保護の申請や生活福祉資金の貸付などの支援につなげるまで生活を支える、緊急的な支援です。生活状況を聞き取り、状況に応じて必要な制度につなげます。

■食料支援の中身

支援する食料の内容は、米やパン、乾麺、缶詰、レトルトカレー、水などです。また、調理のための電気ケトル、カセットコンロ、鍋の貸出もしています。これらの食料は、個人や企業から寄付された物資や共同募金の配分金で購入した物資で、多くの人の支援や協力のもと実施しています。



■相談場所

社会福祉協議会、役場福祉課、地域の民生委員の人に相談してください。

●食料提供のお願い

家庭や職場で余った食料などを寄付してくれる個人・企業の皆さまに、事業への協力をお願いします。※食料品の現物寄付に関しては、消費期限が半年以上残っていることの確認をお願いします。

▷生活保護など生活困窮に関する相談先 障がい者・生活支援係 (☎223-3530)

芦屋歴史紀行

その三百四十七

新人学芸員が、芦屋町の歴史を基本から探る不定期連載第3回をお届けします。今回から3回にわたり、芦屋の地層と化石について紹介します。

●日本海のはじまりは「芦屋海」

今の日本列島ができる少し前、約3200万年前に今の日本海のもととなる海ができました。この海のことを「芦屋海」といいます。芦屋海の記録は、北部九州から山口県西部に地層として残されていて、この地層のことを「芦屋層群」といいます。芦屋層群には、日本列島ができる前の地球の環境や、日本列島ができるまでの過程を知るための、重要な地質記録が残されています。

●芦屋層群

地上で見られる芦屋層群の地層は4種類あり、当時の波の強さや海の深さによって特徴が違います。4種の地層は次のとおりです。

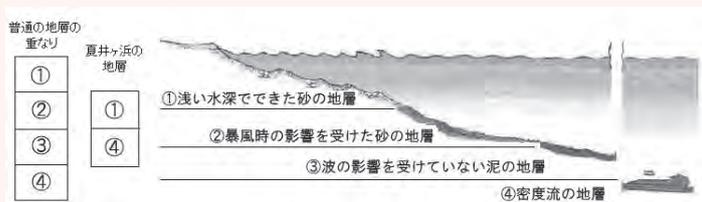
①20mよりも浅い水深で、海面の波の影響を受けて堆積した砂の地層
②暴風時の強い波の影響を受けて堆積した砂の地層
③海面の

波の影響を受けずに堆積した泥の地層
④水深80mよりも深い水深の、ほとんど海流もない場所で、波や水の流れとは違った密度流と呼ばれる流れによって堆積した砂の地層
これらの特徴を持った地層により、芦屋層群は構成されています。

●夏井ヶ浜の不整合層

夏井ヶ浜の海岸は、芦屋層群を観察できる場所の一つです。その中に、不整合層と呼ばれる地層があります。不整合層とは、地層の重なり時間の隙間があったり、地層の連続的記録が失われていたりする地層のことです。

夏井ヶ浜の不整合層は、先述した④密度流の地層のすぐ上に①浅い水深でできた砂の地層が重なっています。この2つは、水深が深い地



夏井ヶ浜の不整合層のイメージ

層と、水深が浅い地層であり、本来なら少なくとも100mくらいは水深が違うはずの地層が隣り合っています。これは、夏井ヶ浜の不整合層ができたところに、短い期間で急激に海面が下がる大海退が起きたことを示しています。これは、2900万年前の世界的な大海退のことで、地質学の中では大変重要な出来事です。



夏井ヶ浜の不整合層

夏井ヶ浜の不整合層は、以前は誰でも見学できましたが、崩落の危険性が高いことから保護工事が行われ、現在は見る事ができません。今回は、芦屋層群で発見される化石を紹介いたします。

(芦屋歴史の里)

編集後記

▼今号で広報あしやを卒業します。役場に勤めて最初に配属された部署が広報で、とても嬉しくありがたく感じるものがたくさんありました。取材ではイベントを楽しんだり町民の皆さんや、朝早くから準備をしてくれる職員・ボランティアの皆さんと交流でき、いつも楽しい時間でした。芦屋町の魅力を存分に知ることができたので、休日にも芦屋町にたくさん遊びに来たいと思います。(野中)

▼今号のまちのわだいに掲載している遠賀郡消防合同出初式に取材に行きました。当日はあいにくの悪天候のため体育館で表彰式がありました。長年の消防活動への貢献に対して団員の表彰が行われたのですが、私は表彰式での団員の人の立ち振る舞いや姿勢などがピシッとしている場面を見て芦屋町民の生命や財産を守るための姿勢を感じ取ることができ感動しました。(篠塚)